



つれづれだより

阿木川ダム防災資料館

日増しに寒くなってきました。

冬の到来です。11/14(水)は、天気荒れました。お昼頃に“あられ”は降るわ、雷はなるわ、強風は吹くわ、でちょっとびっくりでした。滋賀県からみえたというお客さまも寒さと天気(あられ)にびっくりされていました。日が沈むのが早くなり、5時を過ぎれば薄暗くなり始め、どこからともなくカラスの大群がダム周辺の山(管理所周辺)に帰ってきます。(その数は半端ではなく、ダムの天端に隙間なくズラリと並ぶ事もあり、数の多さに思わず「うわ〜！」と声が出てしまうほどです。)



飛び回る数も相当なものです

ダム天端の手すりにズラリと並ぶカラス達何やら井戸端会議…

ダムの



発電量は何戸(軒)分？



「このダムは、発電しているの？」と来館者の方から質問をされることがよくあります。

ダムで行っている水力発電は、自家発電としてダムの管理用に使用され、余った分を売電していますが、最大で2600kwの電力を発電しています。(“2600kw”と、数字で表しても、あまり“ぴん”とこないかもしれません…。)「家庭にすると、何戸分になるの？」という質問も併せて質問をされる事があります。

2600kwを換算すると…



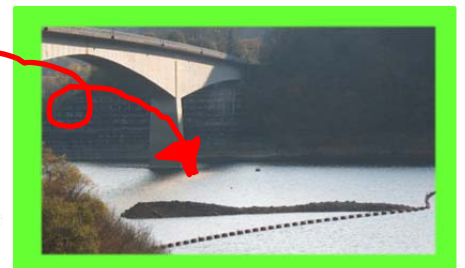
“2600kw”の発電量は、標準家庭1戸あたりの消費電力を、10kwとして換算すると…→ 260戸分まかなえることとなります。放流する水量によって、発電量は毎日及び毎時間変動し、例えば10:30の時点で1400kwの発電量の場合、→ 140戸分をまかなえる発電をおこなっていることとなります。

資料館の開館時間前に発電量を調べ、『本日の発電量』として、資料館1階ホールにあるTVディスプレイ〜【本日のダム情報】にて毎日、表示しています。《本日のダム情報→ つれづれだより vol.20にて紹介》

震災のあと、発電に関して皆さんの意識・関心が高まってみえるようで以前と比べると、発電に関する質問が多くなりました。



ひょうたん島！？



ダム湖に島が出現しています！貯水量が少ないので現れていますが、ダムをつくった際の地形的な名残で、『畝』として残っている部分が、水位が低くなると見えてくるのです。(この畝の部分は、阿木川ダム湖に架かっている阿木川大橋の橋桁の土台にもなっているそうです。) これまでは島(畝)の上の方が見えるくらいでしたが、今年は、島が“ひょうこり”と姿を現しています。どことなく、“ひょうたん島”に似ているな……と思うのは、筆者だけでしょうか？

(※ 写真は、貯水位が EL=約397mの時の様子です。雨が降るなどして貯水量が多くなると、“島”が沈みます。……たよりを書いている時は、EL=398mほど。写真～“島”の右側部分がだいぶ沈んできました)